

# くりとどんぐり

2018. 10. 22

先週の金曜日に、1・2年生と一緒に、生活科校外学習で井の頭公園に行きました。モルモットをひざの上に乗せてもらったり、「リスの小径」に行ったりしました。モルモットはひざの上に乗せてもらおうと大人しくなってじっとして、やさしくなると、だんだん目が半分閉じてきて気持ちよさそうな顔をします。あたたかくて、心臓が動いているのも分かります。連れて帰りたいくらいでした。「リスの小径」にはリスが60匹くらいいました。とても近くでリスを見ることができ、ちょこちょこ動くところやえさを食べるころがかわいらしかったです。中には「リスが僕の体に登りました。」と教えてくれた人もいました。その他にも、ツルやサギやオシドリやカモなどの鳥やコウモリも見ました。フェネックや点やタヌキやシカやサルも見ました。いろいろなところを回るときに、2年生が1年生にとってもやさしくして、「次はどこを見たい？」と聞いた。「お弁当、隣りで一緒に食べよう。」と声を掛けたりしていたことが印象に残りました。お弁当の後で、資料館に紙で作られた独楽をもらいに行ったりどんぐりを拾ったりしました。どんぐりは真ん丸のクヌギのどんぐりでした。どんぐりを拾いながら「どんぐり」と「くり」は、ことばが似ているから仲間なのかなと思っていました。

そういえば、先週、秋の七草とお月見の話をしました。昨日がちょうど十三夜、粟名月でした。十五夜の時のように月が真ん丸ではなく少し欠けているのですが、やはり十三夜の月もきれいでした。月を見ながら栗ごはんを食べました。その時に、また「どんぐり」と「くり」のことを思い出して、気になったので調べました。

そうしたら、「くりはよく食べられるけれど、どんぐりはあまり食べない。おいしくないと言われているけれど、ビタミンやたんぱく質が含まれていて、おいしくたべることができる。アクを抜いて渋さがなくなったものを、粉にしてどんぐりクッキーやどんぐりパンやどんぐりコーヒー、ドングリ餅にして食べている。」と書いてありました。どんぐりはくりと違ってゆでてすぐ食べられるわけではありません。おいしく食べるには、水に何日もさらしてアクをぬかなくてはいけなくて、とても手間がかかります。手間をかけるのはたいへんかもしれないし、手間をかけなくても今はおいしいものがたくさんあるのですが、ひと手間かけて食べてみたいと思いました。

食べるだけでなく、丸い形のどんぐりをこまにしたり迷路のコースで転がしたり、細長いどんぐりにマジックで顔を描いてブローチやペンダントにしたり、つやつやして少し小さめのどんぐりを使って楽器をつくるのも良いと思います。ペットボトルに土を入れ植木鉢のようにして、育ててみるのも良いかもしれません。1年生は、保育園の子どもたちと今週交流する時に、すてきな使い道を考えて楽しく遊んでみてください。

数学検定の表彰をしました。

